

# 2007年6月期 中間決算説明



夢をひとつに。

2007年2月20日



## 朝日インテック株式会社

(証券コード：7747 東証二部、名証二部、ジャスダック)

# 2007年6月期(中間)決算のポイント(連結)

## ● 売上高は前年同期比19.6%増と好調に推移

- 医療機器分野(メディカル事業、メディカルデバイス事業)の増収が主因
  - ・ 主力製品であるPTCAガイドワイヤーのグローバル展開が加速化
  - ・ 国内市場ではPTCAガイドワイヤーの新製品(Fielder FC)が順調に推移
  - ・ 医療機器メーカーへの国内市場向けOEM供給品の受注が増加

## ● 営業利益は前年同期比0.6%減、経常利益は同4.3%増

- 新工場や研究センターの立上げに伴う先行的な諸費用の増加
  - ・ HANOI 新工場 稼動前の初期費用の発生 (2007年1月～スタート)
  - ・ 大阪R&Dセンター設立に伴う初期費用の増加
- 予想以上の市場反響に伴うグローバル展開の加速化に派生した費用の増加  
将来の成長性を持続・増長させるための先行的な費用を複合的に投下
  - ・ マーケティング・営業関連等の販売費用、特許・薬事関連等の管理費用
  - ・ 研究開発費や品質保証体制強化に関する諸費用

## ● 通期(2007年6月期)の売上・経常利益見通しは据え置き

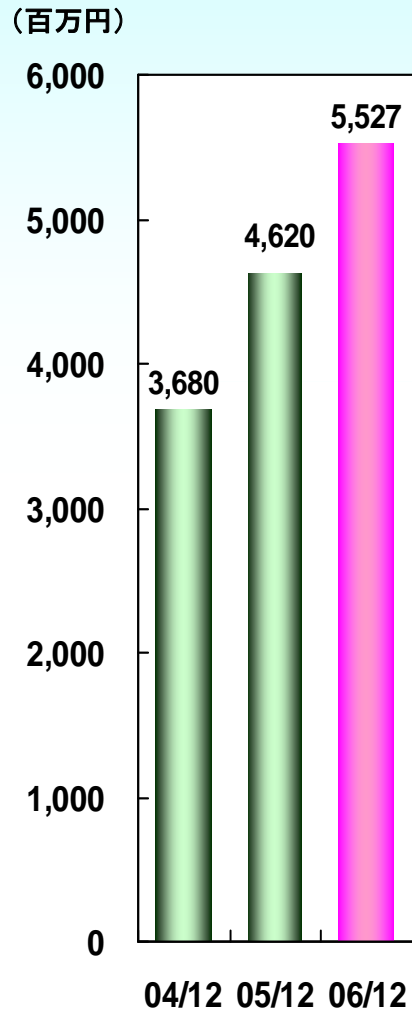
# 中間決算ハイライト (連結)

	2006年6月期 中間実績		2007年6月期 中間実績				
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2006/8/11	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	4,620	100.0	5,446	5,527	100.0	+907	+19.6
売上総利益	2,680	58.0	-	3,303	59.8	+623	+23.3
営業利益	1,114	24.1	-	1,108	20.1	△6	△0.6
経常利益	1,124	24.3	1,003	1,173	21.3	+48	+4.3
当期純利益	673	14.6	539	620	11.2	△53	△8.0
EPS	42.50 円	-	-	39.12 円	-	-	-

(注)期中平均株式数(連結): 2006年6月期中間 15,852,569株 2007年6月期中間 15,852,540株

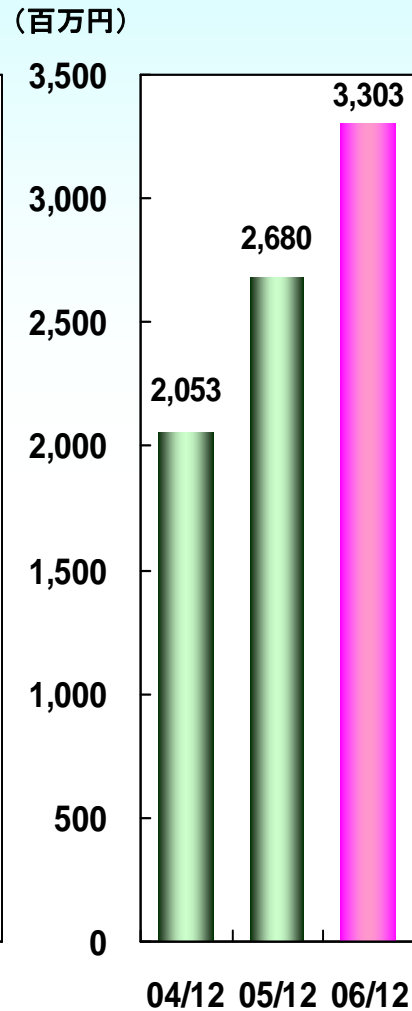
# 売上・利益の推移(連結)

## 【売上高】



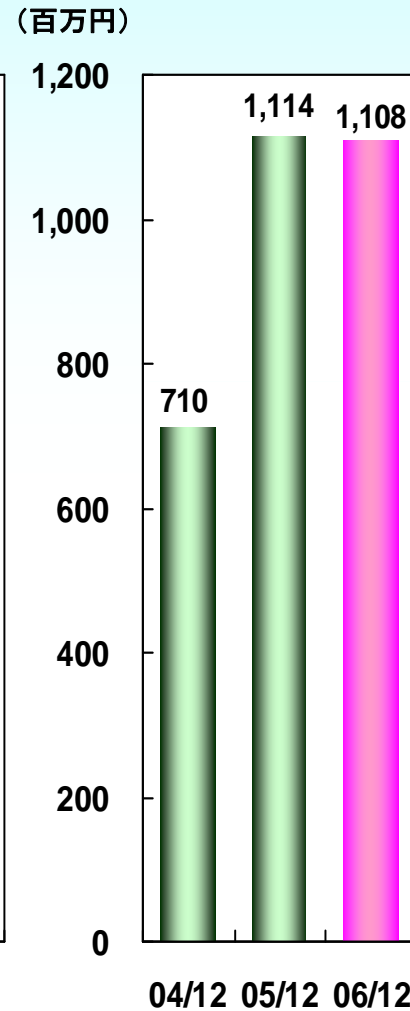
■ 前年同期比907百万円増  
(+19.6%)

## 【売上総利益】



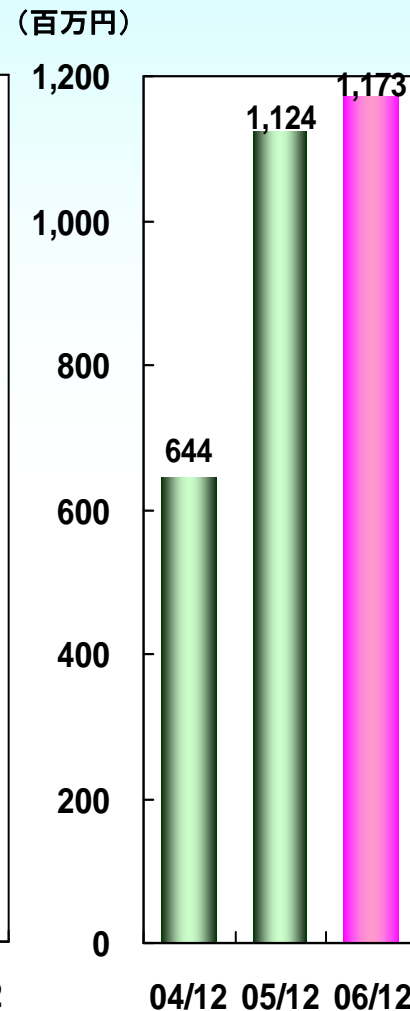
■ 前年同期比623百万円増  
(+23.3%)

## 【営業利益】



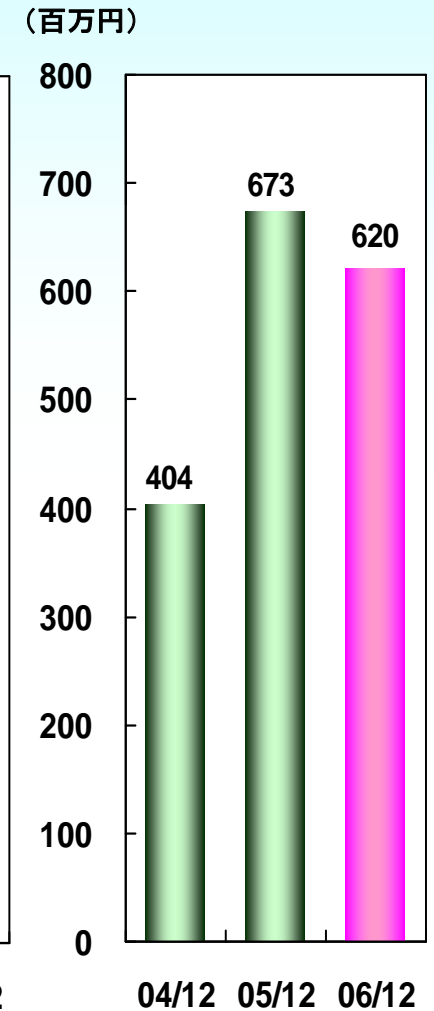
■ 前年同期比6百万円減  
(△0.6%)

## 【経常利益】



■ 前年同期比48百万円増  
(+4.3%)

## 【当期純利益】



■ 前年同期比53百万円減  
(△8.0%)

# セグメント別売上高

	2006年6月期 中間実績		2007年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	2,412	52.2	3,325	60.2	+913	+37.9
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	883	19.1	1,000	18.1	+117	+13.3
〈医療機器分野〉	3,295	71.3	4,325	78.3	+1,030	+31.3
インダストリアルデバイス 〈産業機器分野〉	1,324	28.7	1,201	21.7	△122	△9.3
合計	4,620	100.0	5,527	100.0	+907	+19.6

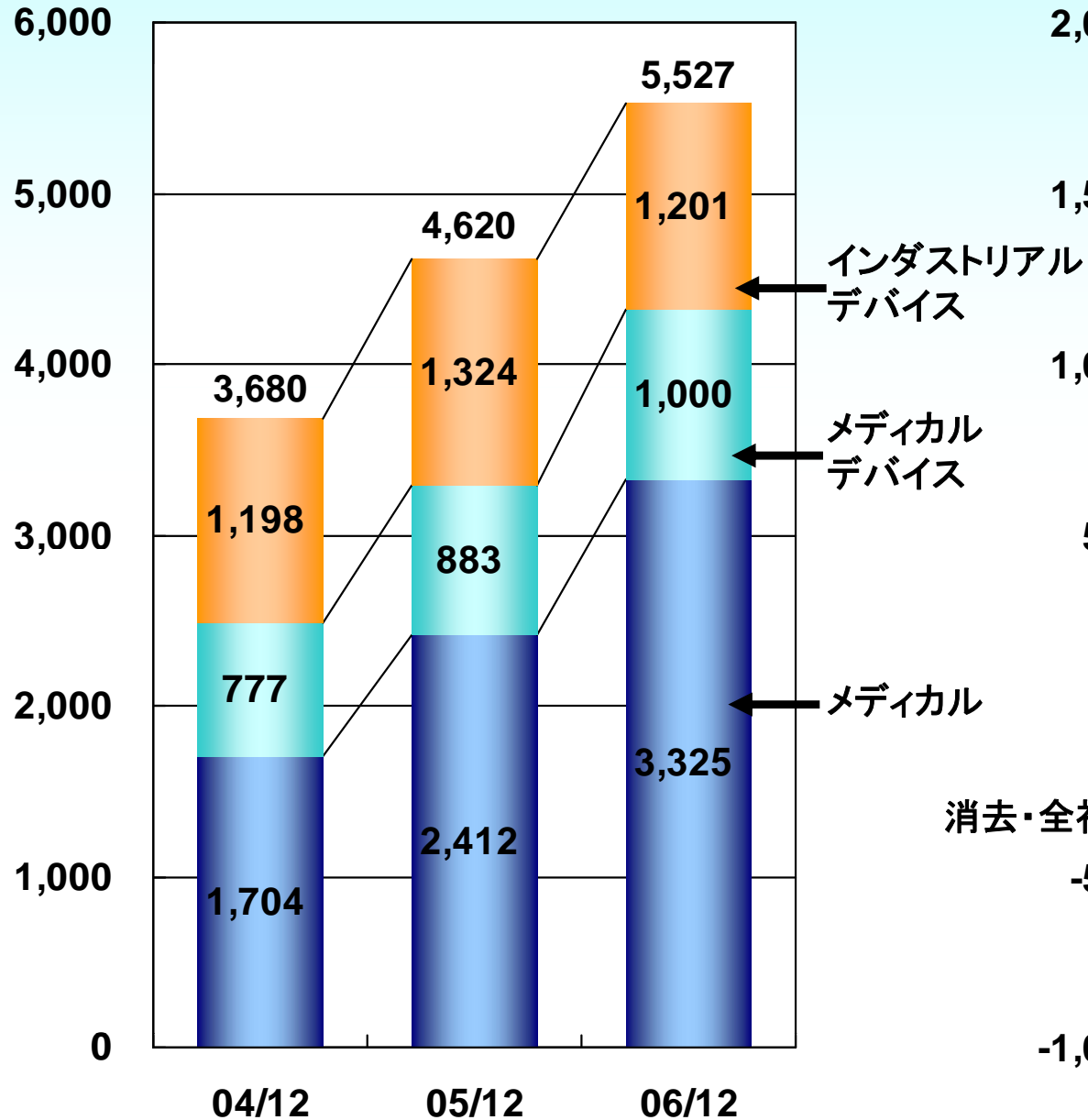
# セグメント別営業利益

	2006年6月期 中間実績		2007年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	930	59.1	1,141	70.0	+211	+22.8
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	282	18.0	276	16.9	△6	△2.3
〈医療機器分野〉	1,212	77.0	1,417	86.9	+205	+16.9
インダストリアルデバイス 〈産業機器分野〉	361	23.0	214	13.1	△146	△40.7
計	1,573	100.0	1,632	100.0	+58	+3.7
消去・全社	-459	-	-523	-	-	-
合計	1,114	-	1,108	-	△6	△0.6

# セグメント別の収益状況

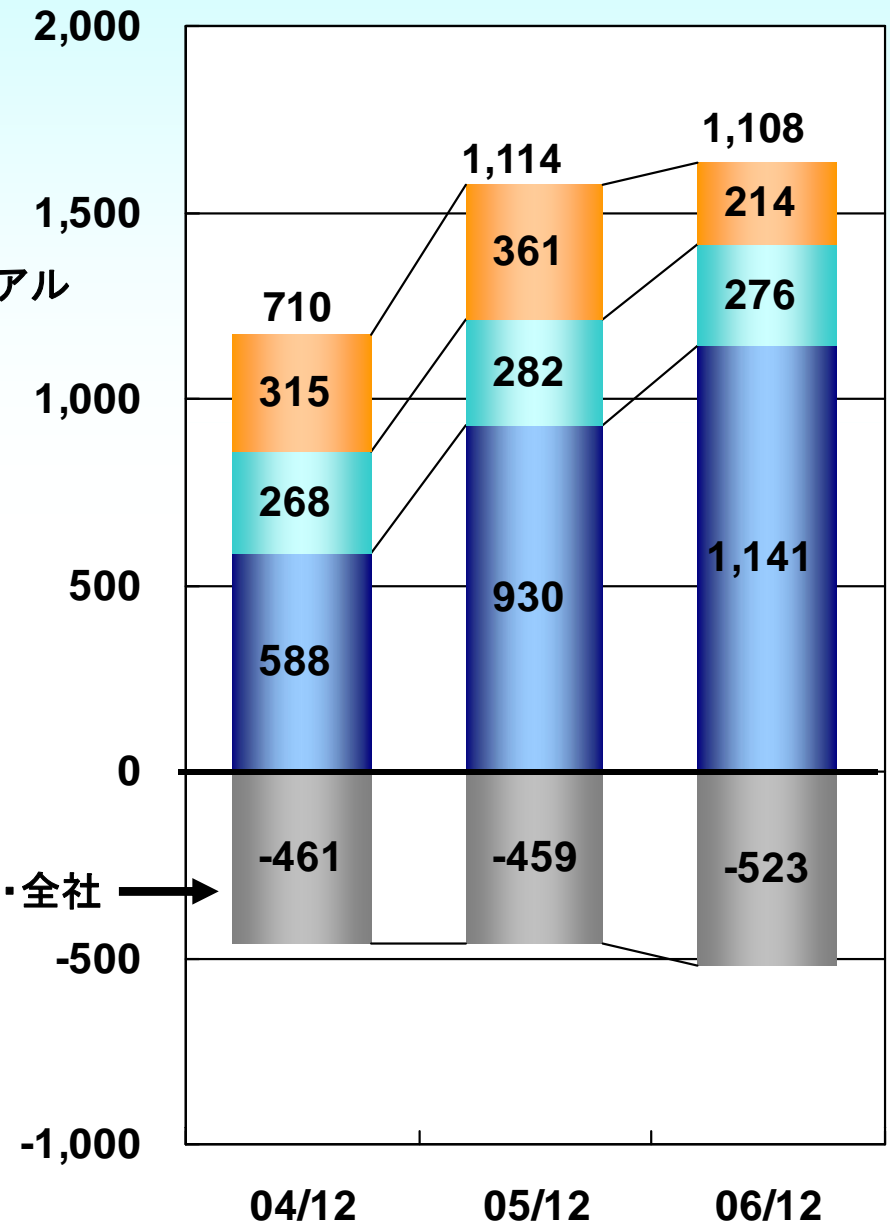
(百万円)

【売上高】



(百万円)

【営業利益】

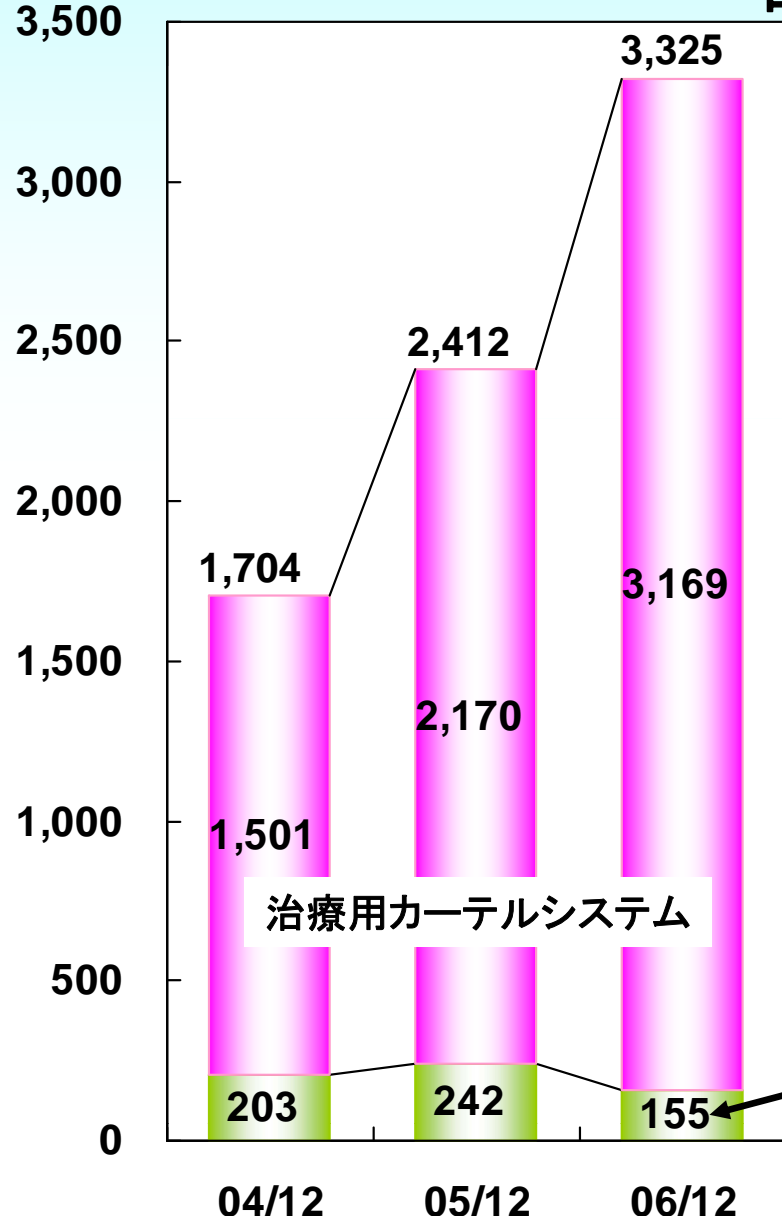


# メディカル事業の状況

(百万円)

【売上高】

～欧米市場を中心にグローバル展開が加速化～



## 《治療用カテーテルシステム》

- PTCAガイドワイヤー(前年同期比68%増)が牽引
  - 再狭窄率を低減する薬剤ステントの普及が拡大  
これに供ないPTCA治療は米国中心に増加傾向
  - CTO治療も可能な当社製品の認知度向上
  - グローバル市場全般において受注が大幅拡大
  - 米国市場に続き、欧州市場においても  
アボット社との独占販売代理店契約を再延長  
米国市場(～2011年12月)、欧州市場(～2011年12月)
- 国内市場では新製品の販売が売上に寄与
  - PTCAガイドワイヤーの新製品「Fielder FC」が  
第2Q以降に好調に推移

## 《検査用カテーテルシステム》

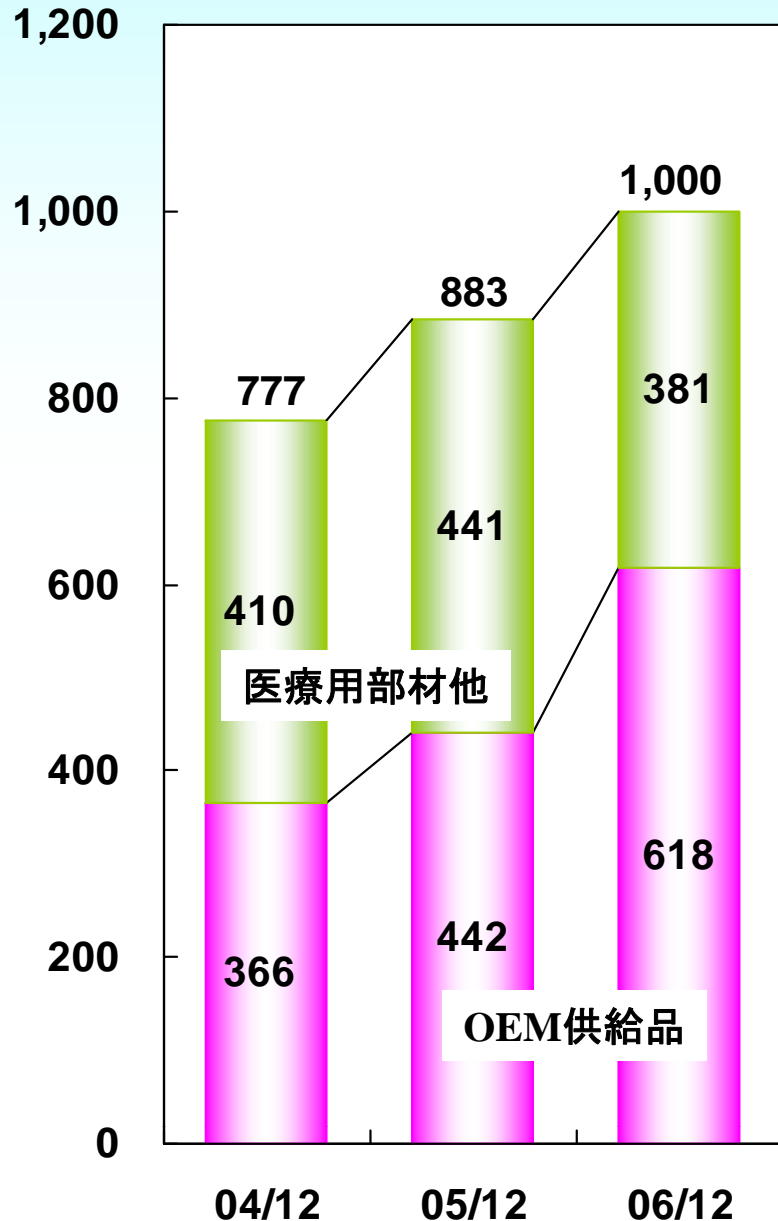
- 競合品との競争激化の影響を受け減収



# メディカルデバイス事業の状況

(百万円)

【売上高】



～OEM供給品の売上が大幅に伸長～

## 《医療用部材》

- 国内市場向けの内視鏡関連製品が好調
  - 当社トルク技術製品の採用増加
- ケーブルチューブ「ACT ONE」は前年同期比減
  - 米国企業からの受注が上半期に集中から四半期分散へ

## 《OEM供給品》

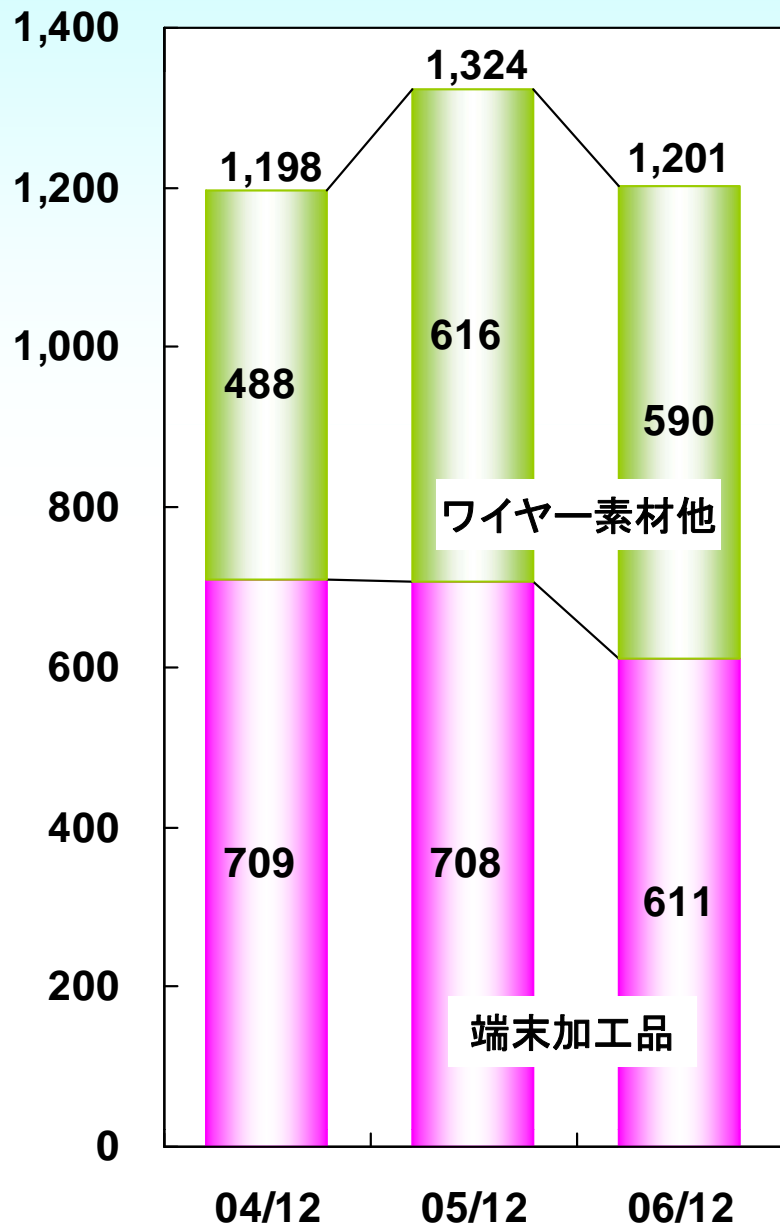
- 国内医療機器メーカー向けOEM供給品が急増
  - 大手医療機器メーカーは「販売」に注力する一方、「製造」は技術力のある企業にアウトソーシング
- 従来製品の受注増に加え新規取引も複数増加
  - 末梢血管系カテーテルシステムが増加
- 海外市場向けのOEM供給体制の強化

# インダストリアルデバイス事業の状況

(百万円)

【売上高】

～高付加価値製品へのシフトを積極的に展開～



- 原材料価格高騰などの事業環境変化
- 事業の合理化に向けて売上構成の見直しを実施
- 既に、エアコン関連製品、トイレ関連製品など、具体的な高付加価値製品の取引が徐々に開始

## 《ワイヤー素材》

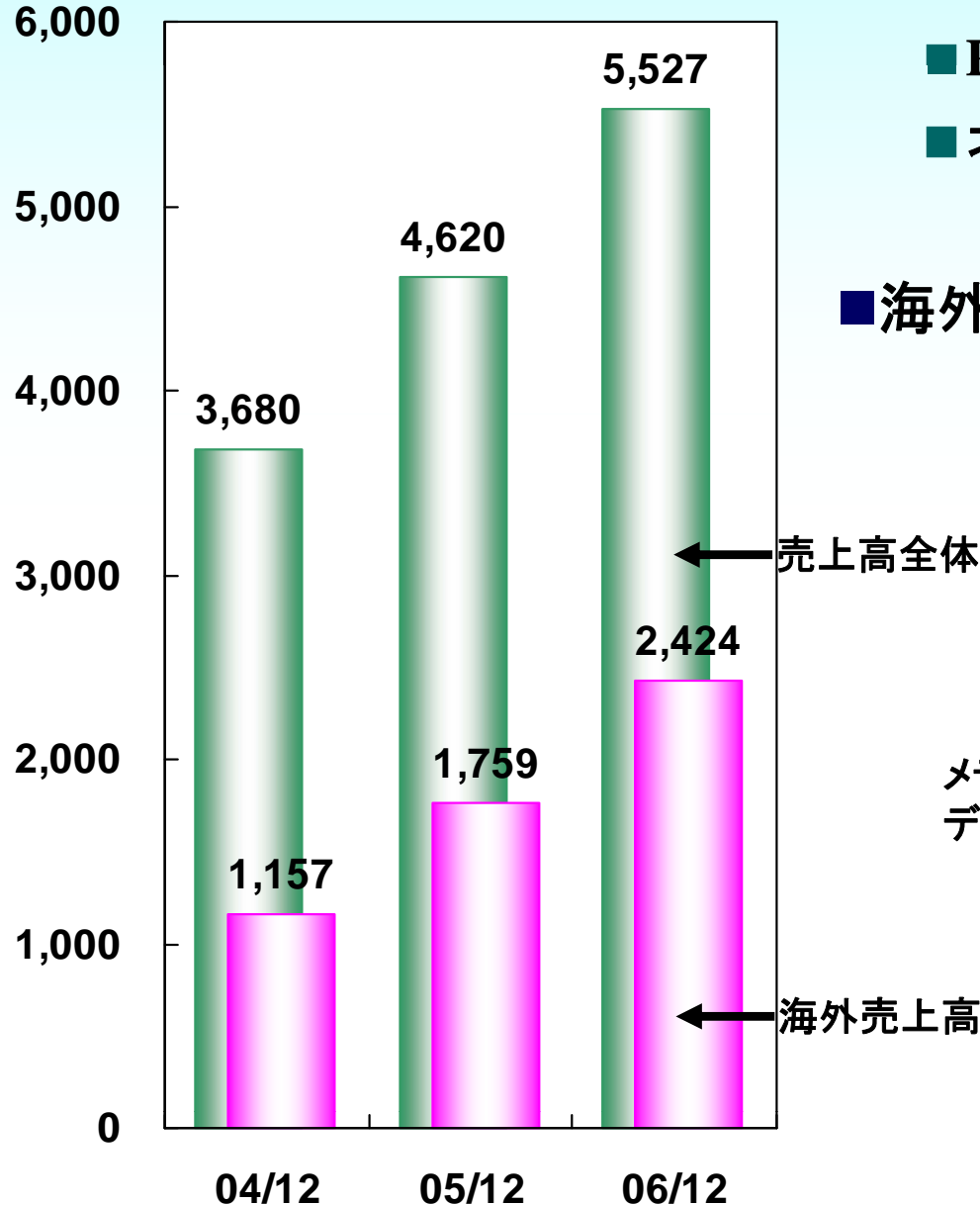
- 自動車関連製品(国内・海外)の売上が増加
- 拳銃盗難防止用ワイヤーの受注が増加
- 遊戯機やOA機器関連製品の取引減が響く

## 《端末加工品》

- 大手海外OA機器メーカー向け新規取引が増加
- OA機器関連製品の取引減少
  - OA機器複合化などに伴う部品市場価格の下落

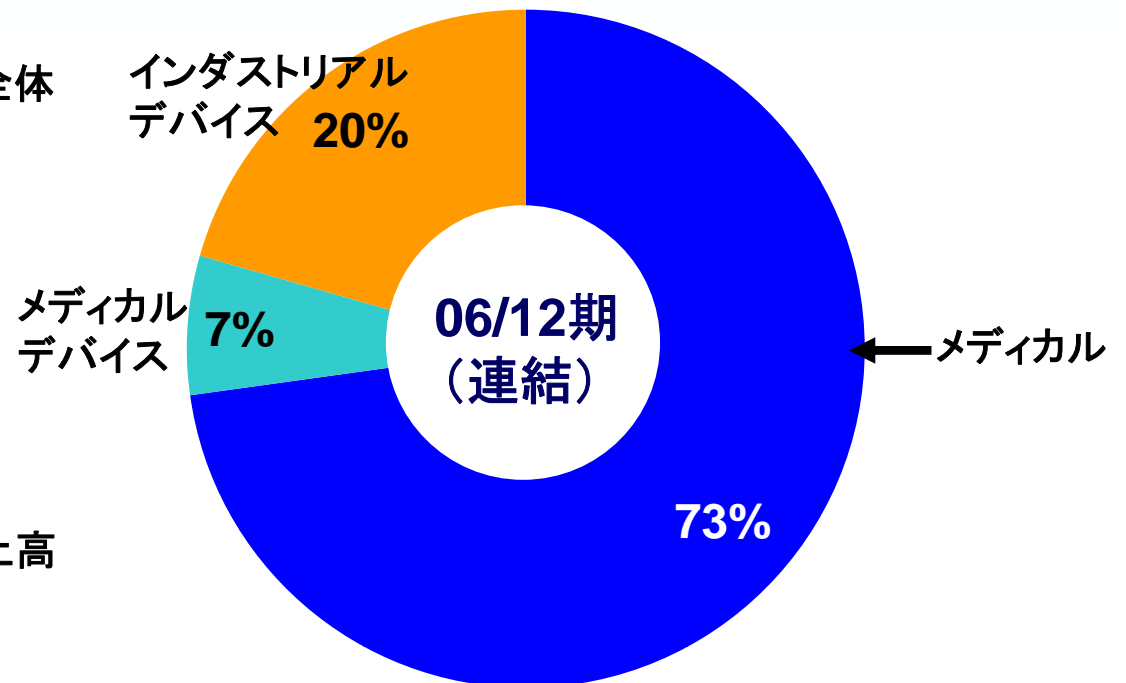
# 海外売上高の状況

(百万円) 【海外売上高の推移】



- 海外売上高は6.6億円増加(前期比38%増)
  - PTCAガイドワイヤーの海外販売が加速化
  - 北米地域の売上が3.6億円増加(前期比2.6倍)
- 海外売上比率は44%(前年同期38%)に上昇

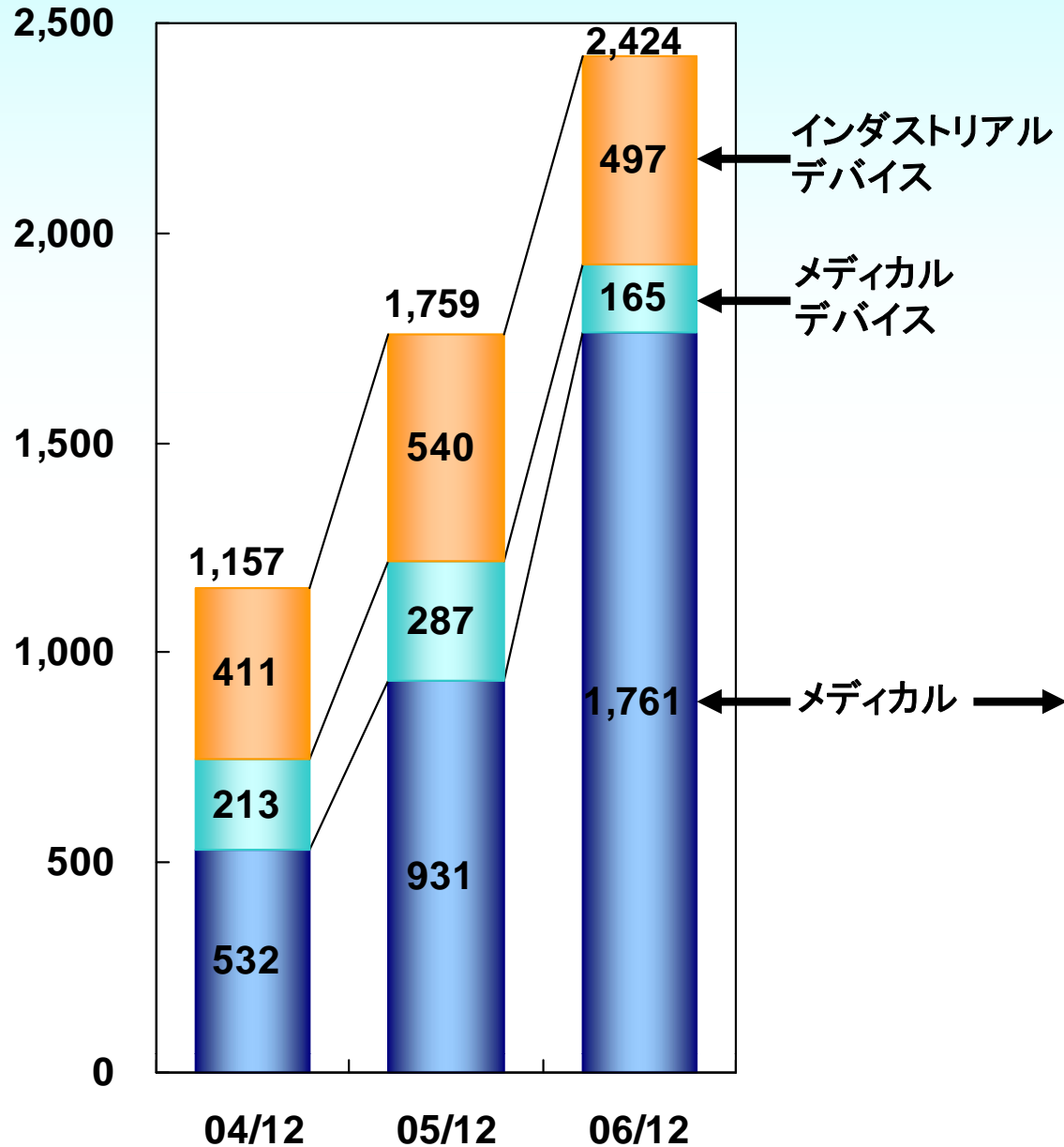
【海外売上高のセグメント別構成比】



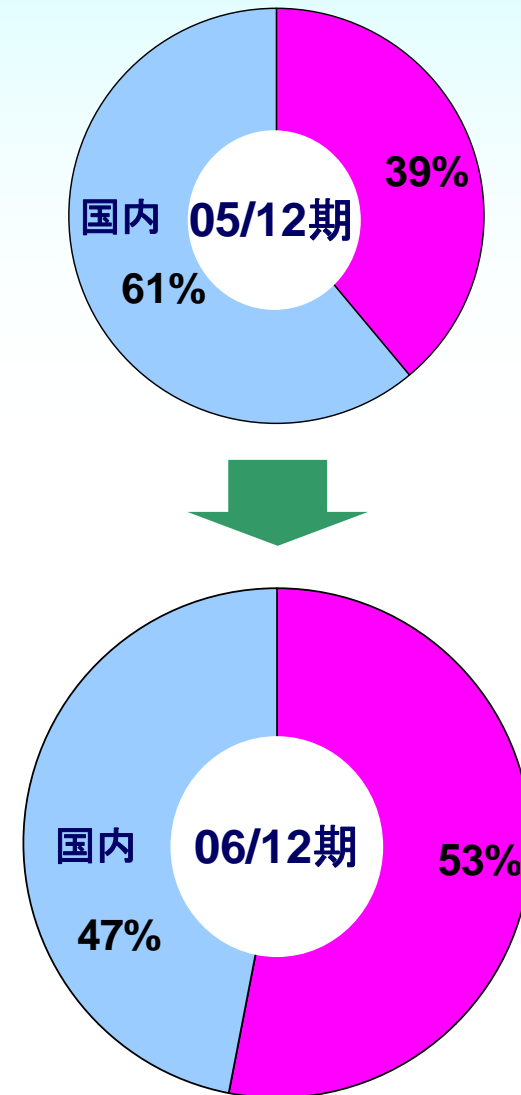
# 海外売上高の状況(セグメント別)

(百万円)

【海外売上高】



メディカル事業の海外売上比率



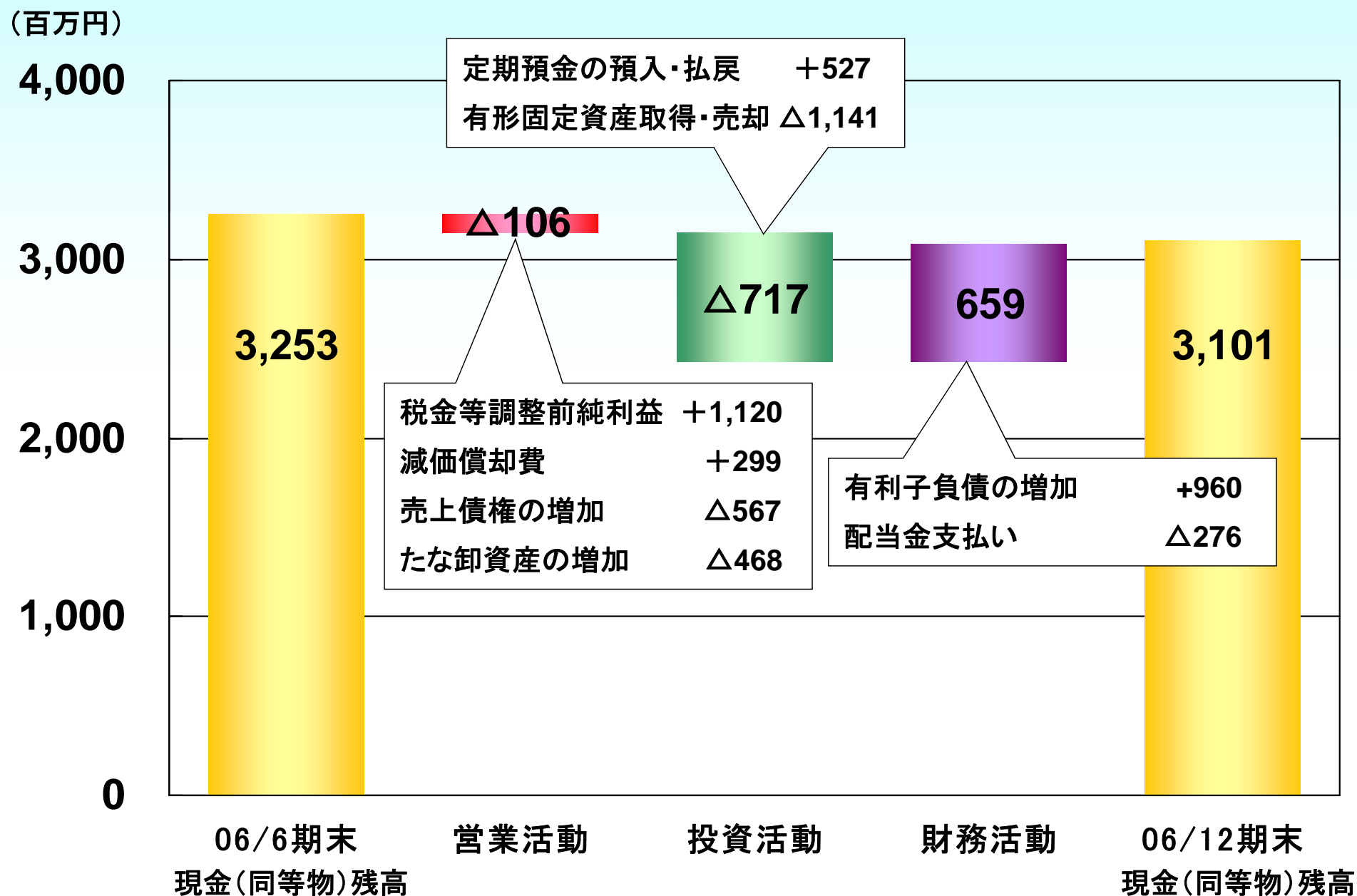
# 損益の状況 (連結)

	2006年6月期 中間実績		2007年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	4,620	100.0	5,527	100.0	+907	医療機器分野の増収 +1,030
売上原価	1,939	42.0	2,223	40.2	+283	増産による原価率低減効果
売上総利益	2,680	58.0	3,303	59.8	+623	高付加価値品の売上拡大
販管費	1,565	33.9	2,195	39.7	+629	給与・賞与の増加 +178 研究開発費の増加 +147
営業利益	1,114	24.1	1,108	20.1	△ 6	
営業外収益	35	0.8	86	1.6	+50	為替差益の増加 +58
営業外費用	25	0.6	21	0.6	△ 4	株式分割手数料の減少 △2
経常利益	1,124	24.3	1,173	21.3	+48	
特別利益	1	0.0	0	0.0	△ 1	固定資産売却益の減少 △ 9
特別損失	56	1.2	52	1.0	△ 3	たな卸資産評価の減少 △10
中間純利益	673	14.6	620	11.2	△ 53	

# 財務の状況 (連結)

	2006年6月期 期末実績		2007年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	9,102	54.0	9,221	51.0	+119	売掛債権の増加 +606 たな卸資産の増加 +507
固定資産	7,739	46.0	8,868	49.0	+1,129	有形固定資産の増加 +1,080 投資その他の資産の増加 +74
資産合計	16,842	100.0	18,090	100.0	+1,248	
流動負債	3,442	20.4	3,266	18.1	△176	未払金の減少 △229 仕入債務の減少 △72
固定負債	2,047	12.2	2,978	16.4	+930	長期借入金の増加 +925
負債合計	5,490	32.6	6,244	34.5	+753	
純資産合計	11,351	67.4	11,846	65.5	+495	利益剰余金の増加 +342
負債・純資産合計	16,842	100.0	18,090	100.0	+1,248	

# 中間連結キャッシュ・フローの状況



# 本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。  
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。



**朝日インテック株式会社**

**【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】**

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1211

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>